

折居内科医院からのお知らせ

H24.6 第90号



ジェネリック医薬品について

ー 強制ではありません。納得して選んで下さい。ー

1. 国の方針

市町や健保組合から「ジェネリックにしましょう」という促進のハガキ等が出されています。「少しでも医療費を減らしましょう」「成分が同じだから効き目も同じ、だったら安い方がいいでしょう」という主張ですが、果たしてその通りなのでしょうか。

2. 当院の処方箋

当院では、今まで少しずつジェネリック医薬品を吟味しつつ導入を進めてきました。その結果、約半分がジェネリック医薬品となりました。従いまして、処方箋には先発品とジェネリック医薬品が混在して書いてあります。しかし、薬局で十分な説明を受けた後にジェネリック医薬品に変更しても構いませんということにいたしました。

3. 当院の立場

しかし、ジェネリック医薬品に変更して先発品と同様に服用し続けている方もいますが、中には「効果がうすいようだ」「副作用が出た」とのことで元に戻した方もいました。これは、主成分が同じであっても、それ以外の基剤や添加物・剤形や大きさ等が皆それぞれに違うからなのです。私は主成分は同じであっても「似てはいるが別の薬」と考えた方がよいと思っています。逆に、ジェネリック医薬品の方が効き目が強く、副作用が少ない例もあります。

4. 結論

ジェネリック医薬品にしなければいけないという強制ではありません。安いこと以外の効果や副作用を含めて、検討した上で納得して選んで服用して戴きたいと思えます。



気をつけよう!

夏に増える食中毒



- ・ 新鮮な物をすぐ冷蔵庫に保存。
 - ・ 料理の前には必ず石けんで手洗いし、まな板・包丁は熱湯消毒。
 - ・ 加熱は充分にし、作った料理はなるべくすぐ食べる。
- ※何より、疑わしいもの（賞味期限切れ・におい・味）は口にしない。

★ 限度額適用認定証をお持ちの方は、受付時に窓口へご提示下さい。